

令和7(2025)年5月14日
第263回定例会

地域の会の概要

柏崎刈羽原子力発電所の透明性を
確保する地域の会

地域の会HPアドレス <https://www.tiikinokai.jp/>

「地域の会」の誕生の経緯

- 平成14(2002)年7月・8月

刈羽村長（7月）、柏崎市長（8月）MOX燃料製造の
欧州（ベルギー・フランス）視察

地元→プルサーマル計画受け入れに賛否激論

- 平成14(2002)年8月29日
東京電力が不正問題を公表

原子力発電所における「自主点検作業記録」を意図的に改ざん、隠ぺいするなどの不正問題が明らかに

- 平成14(2002)年12月

県・市・村・町が発電所の透明性確保をもって信頼回復を目的に、**「地域の会」**の設置を提案

（欧州視察時のフランスの例をヒントに、新しいスタイルの再発防止策として検討）

「地域の会」の設立に向けて

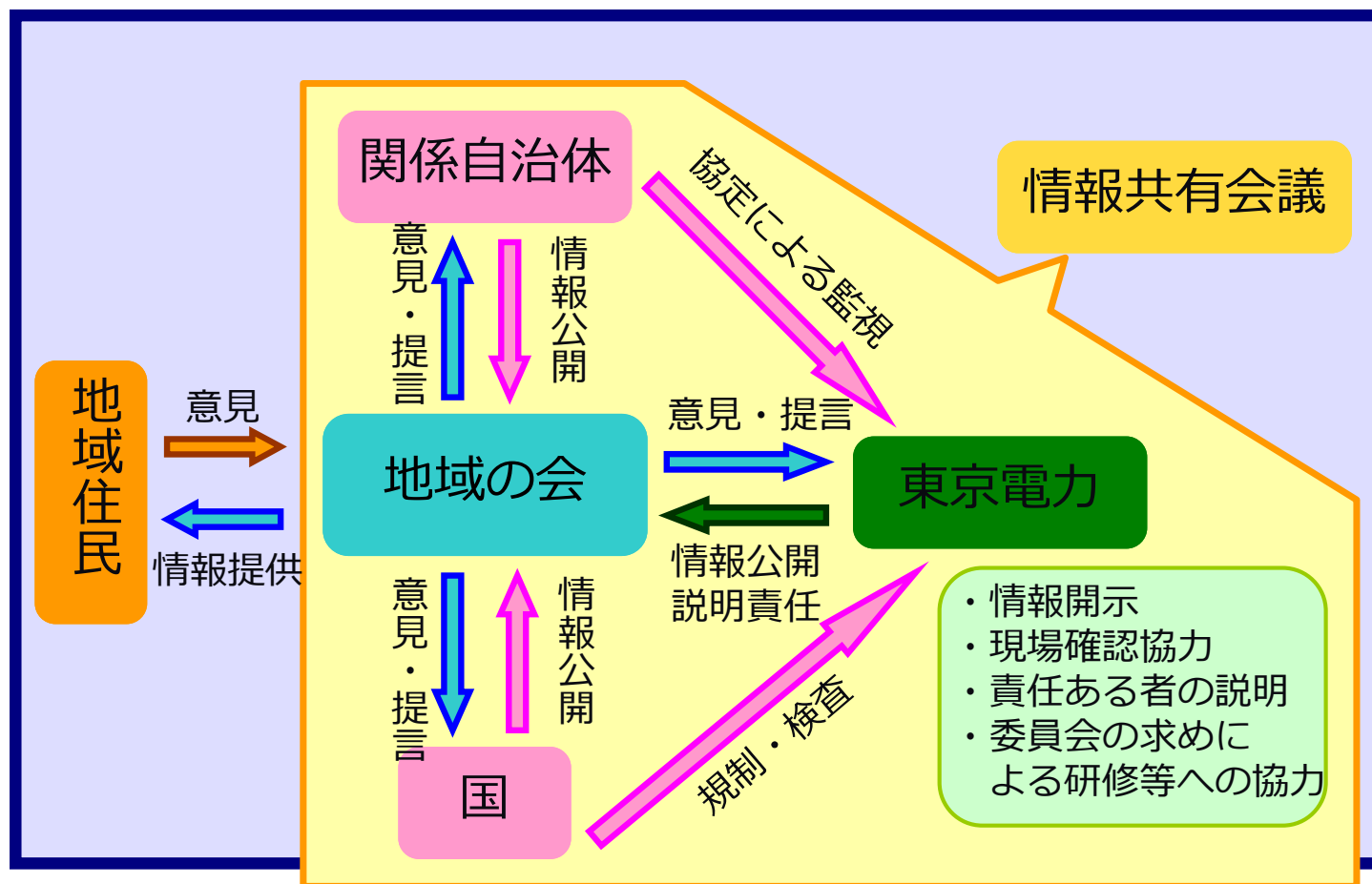
- 平成14(2002)年12月～平成15(2003)年2月
発電所をめぐる賛成・反対・中間の立場の住民の情報共有の場をめざした
準備会の開催
- 平成15(2003)年4月 新委員による予備会議の開催

・ 発電所そのものの賛否は問わない
・ 権限は持たない ・ 原則公開

【地域の会 概要】

- ① 委員：柏崎市・刈羽村に在住し、会が認める各種団体の推薦を受けた
25名以内の委員で構成。(公財)柏崎原子力広報センター代表理事
(柏崎市長) から依頼され、任期は2年。
- ② 会の任務：発電所の運転状況及び影響等の確認・監視／事業者等への提言
／議論・活動等の住民への情報提供／委員の研修等
- ③ 県、市、村、国、事業者はオブザーバー、又は説明者として出席
- ④ 会議の種類：定例会（毎月1回）・臨時会（必要に応じ開催）
運営委員会（毎月1回）

「地域の会」が発足



- 平成15(2003)年5月 地域の会発足
- 平成16(2004)年3月 会長・副会長初選出



「地域の会」の運営

- 運営費は新潟県
- 企画運営は委員
- 運営委員会

定例会の議題検討

情報誌「視点」の編集

提言、要望書のまとめ

視察、勉強会等の検討



議論の対象となった主な事象

- 2002. 8 東京電力不正問題公表
- 2003. 3 柏崎刈羽原発、全号機停止
- 2004. 10 中越大震災（M6.8）
- 2006. 11 復水器出口海水温度データ改ざん
- 2007.1～3 東京電力が新たな過去のデータ改ざんを公表
- 2007. 7 中越沖地震（M6.8）（この後、柏崎刈羽原発、全号機停止）
- 2011. 3 東日本大震災（M9.0）（この後、柏崎刈羽原発、全号機停止）
- 2016. 6 福島第一原発の事故で炉心溶融（メルトダウン）公表の遅れ
- 2017. 3 免震重要棟の耐震性に関する問題
- 2018. 7 国が第5次エネルギー基本計画を策定
- 2021. 1 東京電力がIDカード不正使用及び安全対策工事の未完了を公表
- 2021. 2 東京電力が核物質防護設備の機能の一部喪失を公表
- 2021. 4 原子力規制委員会が特定核燃料物質の移動禁止措置命令を発出
- 2021. 10 国が第6次エネルギー基本計画を策定
- 2021. 11 県が原発事故に関する3つの検証の説明及び意見交換会を開催
- 2024. 1 能登半島地震発生（M7.6）
- 2025. 2 国が第7次エネルギー基本計画を策定



地団研専報54号
「新潟県中越地震の被害と地盤」より

「地域の会」活動

- ・ 20回の提言・意見書・要望書提出

(2003.12～2025.4)

- ・ これまで

定例会 262回（6回中止）

運営委員会 270回（1回中止）

臨時会 9回

情報誌「視点」 131回発行（1回中止）

視察（県外） 12回

令和6(2024)年9月、福島第一・第二原子力発電所を視察



情報誌「視点」



「情報共有会議」

当会の活動を集約する場として、国、関係自治体、事業者が一堂に会した中で、説明を受け・意見・要望を行う「**情報共有会議**」を開催している。（例年11月の定例会時）

■ 令和6(2024)年11月8日に開催された様子



提言・意見書・要望書の提出

- 2003.12.14「原子炉圧力抑制室内の異物問題に対するまとめ」
- 2004. 6. 2「1年間を総括しての提言」
- 2005. 4.12「2年間を振り返って」
- 2005. 8.26「原子力政策大綱（案）に対する意見書 検討書」
- 2006. 2. 1「原子力総合防災訓練を視察して」
- 2006. 3. 1「新潟県国民保護計画（素案）に対する意見」
- 2006. 6.22「原子力委員会「発電用原子炉施設に関する耐震設計指針（案）」及び「原子力安全基準・指針専門部会の見解」に対する意見」
- 2006.12. 6「要望書（原子力の課名復活）」
- 2007. 5. 9「要望書（データ改ざん問題を受けて）」
- 2007.12.13「03年海底活断層再評価の公表を受けて」
- 2010. 2.26「エネルギー基本計画について」
- 2011. 3.24「地域の会意見書の提出について」
- 2012. 1.25「要望書（原子力発電所の安全・防災対策について）」
- 2014. 6. 6「申し入れ書（安定ヨウ素剤未調達事案について）」
- 2015. 4. 8「原子力発電所の安全性を一層高めるための意見書」
- 2017. 4.12「原子力発電所の安全性を一層高めるための意見書」
- 2019. 4.10「原子力発電所の安全性を一層高めるための要望書」
- 2021. 4.14「原子力発電所の安全性を一層高めるための要望書」
- 2023. 4.12「原子力発電所の安全性を一層高めるための要望書」
- **2025. 4 . 9「原子力発電所の安全性を一層高めるための要望書」**

「地域の会」の役割

- 賛成・反対・中間の情報を同時に発信
- 顔を合わせ、地域住民とオブザーバーが情報を共有
- 互いの立場を尊重し、冷静で客観的な議論を重ねる
- 結論を出さない会
議論の中からオブザーバーが、
それぞれの役割に反映させていく